



RI 会長代理メッセージ 並びに 挨拶

渡辺 好政 「真のロータリアンになるために」

児島RC

私は、2690地区、岡山県倉敷市は児島ロータリー・クラブの渡辺好政でございます。ただいま中山達二郎ガバナーから、ご丁寧な、身に余るご紹介をいただき恐縮しております。

この度、家内と私は、はからずもカルロ・ラビツア会長の指名をいただき、会長ご夫妻の代理として、栄誉と伝統に輝く2780地区の地区大会に出席させていただいております。このお役目は、私たちにとって、生涯の喜びであり、感激であります。

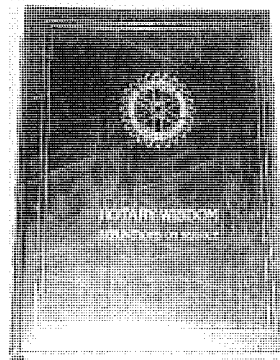
何をおきましても、まずカルロ・ラビツア会長ご夫妻に代わりまして、ご参会の皆様へのロータリー奉仕活動へのご献身に対する感謝とともに、この地区大会のご成功を心からお祈り致します。さらに、来る6月上旬に行われますブエノスアイレス大会にこの地区から多数の皆さんが参加されますようお願い致します。カルロ・ラビツア会長のお言葉をお伝えしながら、皆様のご協力をお願い致します。

当地区は、私の尊敬しておりますRI元理事・ロータリー財団元管理委員の蔵並定男パストガバナー、そして歴代の優れたパストガバナーの皆様のご指導により、日本ロータリーをリードしている素晴らしい地区の1つであり、中山ガバナーの素晴らしいリーダーシップによって、ますますご発展であることと理解しております。

ことに、中山ガバナーご夫妻には、格別なるご配慮をいただき恐縮しております。また、山本淳正パストガバナーは、同期ガバナーの中でも、特に親しくさせていただいております。ご夫妻には私たちが先般、皆様の地区の地区大会のRI会長代理を拝命して以来今日まで、私たちのためにエイドとして親しくご連絡ご教示を賜り、文字通りいろいろとお心のこもったご配慮をいただきました。感謝申し上げます。

さて、私は眼科医でございます。「みる」ことに

興味をもっております。「百聞は一見に如かず」と申します。以下、映像をご覧に入れながらお話をし、参りたいと思います。



まず、1993年、アナハイムで手にしました1冊の本をご紹介します。これは、35年に及ぶ私のロータリー・ライフにとりまして、大変なインパクトを与えた本であります。

題して、“ROTARY WISDOM”と申します、それには、“Reflections on Service”という副題が付けられています。訳せば「ロータリーの知恵、奉仕への思い」とでもなりましょうか。

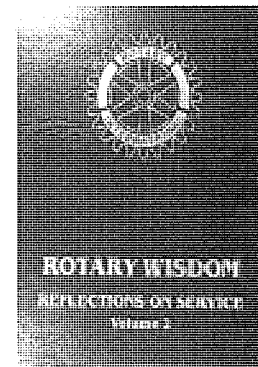
この書物は、現在、世界のロータリーをリードしている41カ国、200人のロータリアンが“Why I am a Rotarian”「なぜ、私はロータリアンなのであろうか」という命題のもとに、それぞれの思いを200語くらいに圧縮して綴られたエッセイ集であります。

この本の表題が ROTARY WISDOM であって、ROTARY KNOWLEDGE でないことには、理由がございます。知恵と知識とは、一字しか違いませんが、その真実は大変な違いであります。「生活の知恵」という言葉あります。いろいろな知識の中から、実際に生活に役立つもの、行動の起源となるもの、これが知恵でありましょう。知恵の言葉は、人生の深い洞察に裏打ちされたものであり、素晴らしい説得力をもっております。

ある大学の学長さんは、「大学は、知識を知恵に

変えるところであります」と述べておられます。

私は、あえて申し上げます。ロータリーの「情報」は、「知識」は、ご自身でもいろいろな文献、資料から、あるいはインターネットから受け取ることができるでしょう。しかし、「知恵」はそうは参りません。クラブにおいて、また、個人個人の奉仕活動を通じて、先輩の経験を拝見しながら、さらに、森三郎パストガバナーの言われるように、ご自身で流された実践の「汗」と、心に感動を覚えて流された「涙」を通して、つまり、「実践」と「感動」を通してのみ体験できるのであります。まさに、ROTARY WISDOMであります。



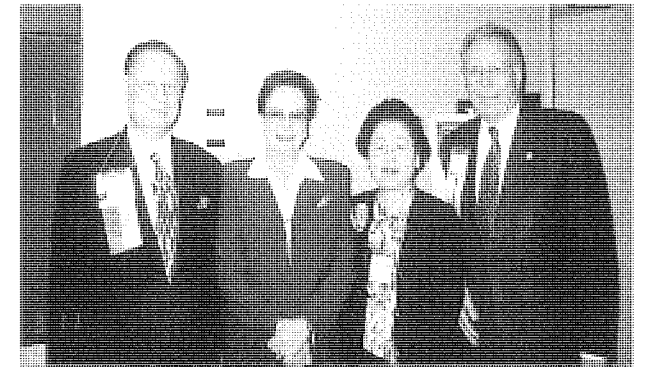
これは、1998年3月、アナハイムで手に入れました第2版でございます。私はこの機会に、この本から、イタリアはミラノで世界の大企業を顧客とする大型のオフィスビルや産業及び公共施設の設計と企画を専門とする会社の素晴らしい経営者をご紹介します。彼は、建築家であった父親と同じ道を歩む正直、誠実な人であり、42年間に一人の顧客も失わなかったという事実が証明するように職業上の信頼関係を築きあげてきた模範的な人物であります。彼の事業活動は超多忙であり、日本語とハンゲルを除いて、6カ国語に堪能であるという、得意の語学力を生かして世界各地に頻繁に出張しておりました。

71年、友人に誘われて新しいミラノ南西ロータリー・クラブに創立会員として入会したことが、彼の人生を変えることとなりました。人生において多くの才能に恵まれ、報いを受けてきた彼ですが、より組織的、生産的な方法で、地域の恵まれない人に善をなす機会を求めていたのです。ロータリーは、そういった彼にとって「靈感を受けた解決法」となるものでした。

彼の名前は、カルロ・ラビツアであり、私たちの敬愛してやまない現在の国際ロータリー会長その人です。カルロ・ラビツア会長の人となり、ロータリーの友にもまた、中山ガバナーの月信

にも詳しく述べられております。

にも詳しく述べられております。

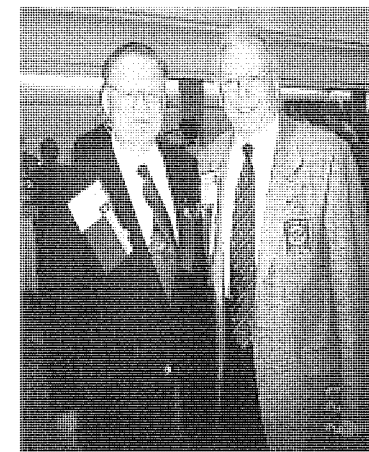


[カルロ・ラビツア会長ご夫妻と私たちの写真、アナハイム、1998年]

「成し遂げなければならない仕事は、忙しい人に与えなさい」というのは、カルロ・ラビツア会長のお気に入りの言葉の一つであります。その言葉のように、彼は、入会から6ヶ月後、初代のクラブ会長に選ばれ、6年後には、現在の2040地区の1977~78年度ガバナーに指名されました。多忙でさらに拡張し続ける事業活動にもかかわらず、彼は、ガバナーとして、1年間1度もクラブ例会を休まなかったといひます。

彼はこう言っています。「ロータリーを通じて、人々に奉仕することで私は謙虚になり、救済と援助を求める人々の声をもっと深く理解できるようになりました」と。

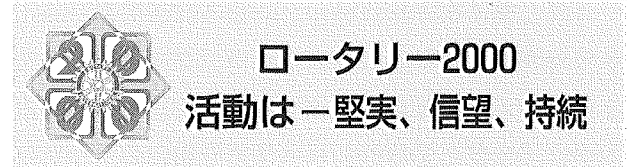
私は、1998年、国際ロータリー研修リーダーとしてアナハイムに参りましたとき、国際ロータリー会長ノミニエー時代のカルロ・ラビツア会長ご夫妻とお会いして、親しくお話を伺うことができました。そのときの写真であります。



[カルロ・ラビツア会長と私、アナハイム、1999年]

これは、昨年3月、国際協議会 language assistant およびロータリー財団地域コーディネーターとして参加させていただいたとき、当時、国際ロータリー会長エレクトであったカルロ・ラビツアさんとのスナップであります。このときには、ここに揚げられております

カルロ・ラビッツア会長のテーマのマークのご説明をお聞きしたものでした。カルロ・ラビッツア会長エレクトは、こう言われました。「ほかの会長は、おそらく、誰か専門家に依頼して図案を決めているのですが、私は、そのデザインの専門家ですから、私自身が作図して決めたのです。2000の文字は、文字通り、ロータリー2000、四つの矢印は、国際ロータリーはあらゆる方向に発展するし、四つのテストのこともあり、四大奉仕のこともある。行動したくなるような図案を目指したのです」と。



ロータリー2000 活動は一堅実、信望、持続

カルロ・ラビッツア会長年度のテーマ

ご参加の皆様には、中山ガバナーの言葉、ガバナー月信、ロータリーの友、その他のメディアを通じて、すでに、本年度の国際ロータリー会長のテーマについてはよくお聞きになっていることと拝察致します。本日はご家族もいらっしゃいますし、また、役目柄、カルロ・ラビッツア会長のテーマの要点だけを強調したいと思います。

まず、ロータリー2000：「2000年」という“千年期”に向け、新しい国際ロータリーの船出を祝っているものであります。熱意という生き生きとした精神、前向きな精神、連帯、寛容の精神をもって活動への手がかりを掴むことであります。

堅実 (Consistency)

すべてのロータリアンが同じ土俵で、同じ規定の下に運営し、共通の目標を達成するために尽力すること。

ついで、堅実 (Consistency)：新千年期に向かって、私たちの組織を適切に導く、中核となる原則。ロータリー・クラブ、地区は、ロータリーの定款、細則、また、規則などにも従う。ロータリアンは、ロータリーの基本的な原則に一貫性をもって忠実であれ。もしも、定款、細則の変更が必要であれば、規定審議会でも適切な方法を講じて変更してゆく。カルロ・ラビッツア会長は、ポール・ハリスの言葉を引用しております。それは、

「ロータリーは必ず進歩しなければなりません。時には革命が起こる必要があります」と。

信望 (Credibility)

ロータリーが地域社会において価値ある組織とみなされ、ロータリアンがその有意義な奉仕活動と道徳的な行動規範によって知れ渡るようになること。

そして、信望 (Credibility)：カルロ・ラビッツア会長は、その経営される企業が社会的な信頼を勝ち得てきたことから、信望とは、伝統的にロータリアンの顕著な特徴であるとし、私たちは、事業と専門職務内で倫理的行動水準を設けようと努力すべきであるとしています。この信望の言語であるcredibilityは、信用、信頼に値するということから、ただ「信頼性」という和訳からくるイメージよりも重く、強いものであります。

持続 (Continuity)

毎年7月に指導者が変わるロータリーの制度のために、会員の指導力を効果的に活用できます。

さらに、持続 (Continuity)：従来の1年交代という国際ロータリーの伝統的な原則にやや矛盾するような感じもありますが、カルロ・ラビッツア会長、国際ロータリーのトップ・レベルの指導陣の間に「持続」を浸透させようと努力しております。キンロス→レーシー→ラビッツア、そして、レーシー→ラビッツア→ダブリンを経て、現在では、ラビッツア→ダブリン→キングとなりますし、第2780地区では、後藤忠雄直前ガバナー→中山達二郎現ガバナー→小沢一彦ガバナー・エレクトということになります。3代にわたる力を結集して事業に立ち向かうということが、カルロ・ラビッツア会長の言われる「IからWeへ」という言葉の裏にあるようです。

勇気をもって変革 Courage to Change Courage to Listen

なお、カルロ・ラビッツア会長は、先の3つのCに続きまして、変化する勇気 (Courage to Change)、ロータリーが変化を必要とするならば、勇気をもって、ルールに基づき、民主的に、真摯な検討を経て行うこととされています。国際ロー

タリーの中において、現在、どのような変革が計画されているかは、その一部を明日の「国際ロータリーの現況報告」のところでお話し致します。また、聞く勇気 (Courage to Listen) を提唱されました。

年度の目標：堅実、信望、持続

カルロ・ラビッツアRI会長

1. 高潔な倫理および道徳感
2. 会員の質を高める一質と量の両立
3. 会員すべてを真のロータリアンに
4. ロータリー・クラブにロータリー精神を導入
5. 寛容で謙虚な、連帯を重んじる態度

設定可能な5つの目標

カルロ・ラビッツア会長は、ご自分の会長時代には、新しいプログラムは導入しないと言われました。そこで、ロータリアンとロータリー・クラブに対して、設定可能な目標として次の5つを採り上げられました。それらは、映像でご覧のように、

1. 高潔な倫理及び道徳観
2. 会員の質を高める一質と量の両立
3. 会員すべてを真のロータリアンに
4. ロータリー・クラブにロータリー精神を導入
5. 寛容で謙虚な、連帯を重んじる態度

今回、時間の関係もあり、5つのすべての目標についてお話しする時間がございません。そこで、私は、真のロータリアンとは、そして、どうすればロータリー・クラブのメンバーから真のロータリアンになることができるか、また、ロータリアンであり続けることができるかをお話ししたいと思います。

ジェームス・レイシー直前会長と 1963~64年度RI会長カール・P・ミラー氏の共通点は何でしょうか？

カール・ミラーとジェームス・レイシーのお2人とも、一度、ロータリー・クラブを退会されているのであります。そして、再入会され、国際ロータリー会長にまでなりました。

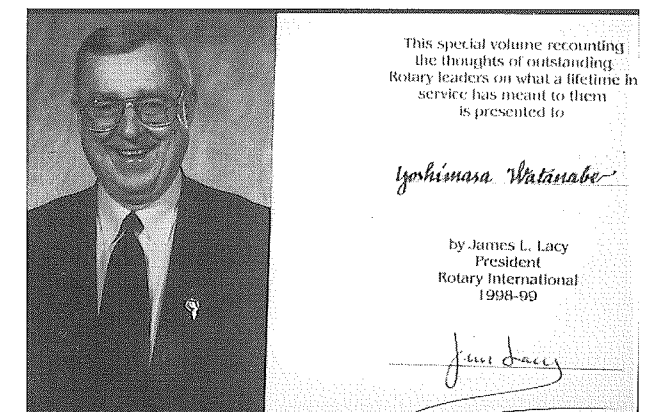
Bill Patterson

Jim Lacy

(ジェームス・レイシー物語、Bill Patterson サイン)

事業に成功した34歳の青年実業家であったジェームス・レイシーさんは、米国テネシー州のクックビルにある、1935年創立の100人余の会員を擁する名門クックビル・ロータリークラブに、友人の紹介によって入会を許されました。1964年のことであります。ジムさんは、クラブから指名されたお役目を忠実に果たしていましたが、長老の会員との溝がふかく、例会に出ても、自分の居場所を見付けることができないまま、入会から5年後の1969年にクラブを退会致しました。例会場で、自分の座るところがなかったと話しておられます。

彼の退会を聞きつけた友人のビル・バターソンさんが、すぐ、レイシーさんの事務所を訪れました。いろいろと話をしてくれたのです。そして、数ヵ月後の1970年に、青年実業家は再入会をします。クラブでも、その青年実業家と同年代のビジネスマンや専門職業の人を会員に迎え入れ、すぐさま、彼らをクラブ・プロジェクトに参加させました。



(ジム/クラウディンのポートレート)

ジムさんは、自分を訪ねて来てくれ、親しく話をしてくれたビル・バターソンさんへの感謝のために、昨年6月、インディアナポリスでの国際大会のときに招待されていました。昨年3月、アナハイムでの

国際協議会するとき、当時のレーシー会長エレクトからいただきましたサイン入りのものであります。

私がロータリアンになっている理由は、ロータリーに強い関心と愛情をもっているからである。

ジェームス・レーシー
1998～99年度RI会長

この本のレーシー会長の頁をひもときますと、再入会を果たしたレーシー会長は、いろいろな仕事をしながら、地域の指導者との交流を楽しみ、1977年、英国へのGSEチームのリーダーに選ばれました。GSEを体験して以来、ジムは、こう言っています。「私は、今ロータリアンなのです。ロータリークラブのメンバーではないのです」と。ここに大きな意味があるのです。

“Why I am a Rotarian ? Because I care…”
「私は、ロータリーに強い関心と愛情を持っているから、私はロータリアンになっているのです」この背景には、RI会長であるジム・レーシーさんの涙ぐましい物語が入っております。

「私はロータリーに入ったとき若かったのです、誰も相手にしてくれなかったのです。座る席もなかったということです。お年をめした方がいらっしゃったらごめんなさい。ロータリーの古い方が私に対して関心を持っていなかった。だから、私は退会したのです」

私たちは、36年前に起こった、「レーシー直前RI会長の退会物語」から、大切なことを学ばなければなりません。

皆様方ビックリしないでください。

日本のロータリアンの内、1年に16万人退会する。その理由は、

40% 転勤、退職、病気

60% レーシー会長と同じような立場で退会

今、120万人の全世界のロータリアンの内、1年に16万人退会をするのです。日本のロータリアンは13万人ほどですので、日本のロータリアン以上の方

が退会するのです。その理由を聞きますと、3～4割は、転勤、転職、病気などで退会されますが、6割はレーシー会長と同じような立場で退会をされます。無関心ほどその人にとって大変な取り扱いはないのです。

世界のロータリアンの40%は入会して2年未満です。

ルイス・V・ジアイ

そして、現在世界中の会員の4割は、入会2年以内なのです。会員の教育がいかに大切かがわかります。ロータリー・クラブは学校であるとジアイ元RI会長は指摘しています。ロータリー・クラブの会員をロータリアンになっていただくのは、クラブの責任であります。そこで、会長様、幹事様の責任は特に重大であります。クラブの一人一人の皆さんのお力が大切であります。

こと会員増強につきましては、国際ロータリーは、現在危機的な状態でございます。具体的な数字は、明日お話いたします。中山ガバナーには、いろいろとご協力をいただいております。感謝いっぱいです。私自身、現在ロータリー財団の地域コーディネーターを仰せつかっておりますので、会員の動向は、ロータリー財団の貢献度に直接響いて参りますので、大変な関心をもっております。

水槽に水を入れるときに、まず栓をします。栓をしないで水を入れますといつまでたっても、水はたまらない。

1978～79年度元RI会長
クレム・レヌフ

とくに、退会防止は大切であります。中山ガバナーは、その月信3号に、「本年度の目標は、『減らさないこと』であります」と述べられています。クレム・レヌフ元RI会長（1978-79、Theme: Reach Out, Australia）は、「水槽に水を入れるときに、まず栓をします。栓をしないで水を入れますといつまでたっても、水はたまらない」と言われています。いくら会員を増強しても、退会者がふえ続ければ、同

じことであるというのであります。では、退会を防止するには、どうすればよいでしょうか？

会員増強と退会防止の決め手は？

- ・堅実
- ・信望
- ・持続

答は簡単であります。その答えとは、まさに、堅実、信望、持続であります。ロータリーの規則に忠実で、地域社会の信望を勝ち取って、それらを継続しているロータリアンがいるロータリー・クラブには、退会者はなく、むしろ多くの入会希望者があつてしかるべきでありましょう。カルロ・ラビッツア会長は、会員減少を速やかに食い止めるために、等しく質と量とを考へるよう進めており、質と量の両立を強調しております。

ロータリー・クラブのメンバーメンバーですか？ ロータリアンですか？

25年前、ジェームス・コンウェイRI会長も、また1993-94年度のロバート・バースRI会長も「ここにいらっしゃる皆様方はロータリークラブのメンバーですか？、それともロータリアンですか？」という問いかけをしました。

歴代の国際ロータリー会長、カルロ・ラビッツア会長も、献身的なロータリアンは、世界120万人のうち20%、あるいは30%であると指摘をされています。ロータリー・クラブのメンバーとは、また、真のロータリアンとはどんな人でしょうか。

真のロータリアンとは： ロータリアンは、奉仕に貢献し、親睦、寛容、世界理解の推進に懸命な人のこと。

カルロ・ラビッツアRI会長

ロータリー・クラブのメンバーとは、例会に出席して、会費を払います。しかし、例会場をお出にな

ると、すぐロータリーのことはお忘れになるのです。中には胸のエンブレムをはずされる方もいます。

ラビッツア会長は、真のロータリアンについて次のように述べています。すなわち、「熱心なロータリアンとは、奉仕に献身し、親睦、寛容、世界理解の推進に懸命な人のこと」と。

では、ロータリーのメンバーからロータリアンになるためにはどうすればよいか、という疑問がわいてまいります。結論から申しますと、メンバーをロータリアンになっていただくのは、クラブの責任であります。従来から、クラブ増強は、「質か量か」との論争がありましたが、このように考えて見ますと、この疑問は氷解するのではないかと考えます。

教えることは、相手に希望と夢を托すことであり、学ぶことは、真実を胸に刻むことである。

お互いを高め合って、良いことを学ぶのです。Teaching and learning であります。教えることは、お相手に、夢を、また希望を托すことであり、学ぶことは、真実を胸に刻むことであるといえましょう。ポール・ハリスが示したように、お互いが子どもになって、いわゆるこの世的な競争もなく、高め合うことが大切であります。

Enjoy Rotary !

ロータリーを楽しもう！

1989～90年度RI元会長
ヒューM・アーチャー

では、このロータリアンとはどういうことでありましょうか。これは、いろいろな意味で、「例会を楽しんでいる」、つまり、“enjoy”していらっしゃる方です。ただお集りになってパツと楽しむ。これは、むしろfunですが、enjoyというのはfunとは少し違います。いろいろな意味でもって、その持ち場、職場において全力投球をした後、楽しむこと、これがenjoyであります。まず、行動があるのです。

参加して 行動しよう

R12780地区ガバナー
中山 達二郎

ロータリーの友のガバナープロフィール紹介文をみますと、中山ガバナーは、「考えたり話したりしているだけでは、奉仕の理想は実現しない。参加して行動しなければ」という行動派であるとされています。

たとえば、このロータリークラブでは、ある方は会長として、幹事として、副会長として、その職務に熱心に取り組んでいらっしゃる。ロータリー・クラブのみんなが熱心に取り組む、参加して行動するのです。これを“participation”といいます。

ロータリーに立ち見席はない Participate!

つまり、ロータリーには立ち見席はないのであります。その participation のあとに楽しむ、これが enjoy なのです。船に例えますと、皆様方が船に乗れば join ですが、しかしながらある方は船長として、機関長として、航海長として、船医として、こういう形でもって、一生懸命にその部署において参加し、敢行する。そして、そのあとに楽しむ。これが enjoy であろうと思われす。非常に素晴らしいことで、ヒュー・アーチャー元RI会長は、Enjoy Rotary というテーマを掲げられましたけれども、私自身、これは、素晴らしいテーマであると考えております。

真のロータリアンであり続けるために 1. 良き「夢」をもつ 2. 前向き、肯定的な言葉を使い、 心のおしゃれをする 3. 良き「友」を持つ 4. それら続ける

私は、素晴らしい真のロータリアンになり、また、真のロータリアンであり続けるために、つぎの4つをお勧めしたいと思います。すなわち、

- 1) 良き夢をもちましょう。:
- 2) 前向き、肯定的な言葉を使い、心のおしゃれをしましょう。:
- 3) よき友を持ちましょう。:
- 4) それら続けましょう。:

の4つであります。では、それぞれに、説明を加えさせていただきます。

真のロータリアンであり続けるために 1. 良き「夢」をもつ

「幻なき民は滅びる」とは聖書の言葉であります。良き幻を描くこと、心に良き夢を見ることであります。すなわち、私たちのこれからの行く末はどうであろうかと想像するとき、良き夢を描くことであります。

あるところに、大きなビルディングの建築現場がありました。その現場で働いている1人の職人さんに質問してみました。「職人さん、何をされているんですか？」すると、「見れば判るだろう」という答えが帰って来ました。もう1人の職人さんへ、同じ質問をしますと、「時給800円だから、安いんだよね」との答えでした。しかし、笑顔で生き生きと仕事をされている職人さんがいましたので、同じ質問を投げかけますと、このような答えが帰って参りました。「私が建てているこの建物は、大磯プリンスホテルになり、そこでは、素晴らしいイベントが行われ、ロータリーの地区大会も行われ、私たちに豊かなところを与えてくださるのです」夢と希望がある職人さんは、毎日生き生きと生きていらっしゃるのです。良き夢をもっていらっしゃるのです。

国際ロータリーも、1905年、ポール・ハリスという、一人の人の夢から始まりました。ロータリー財団もまた、1917年、アーチ・クランプという、一人の人の夢から始まり、今日の発展を見ております。「夢見る人」であったのです。では、「夢見る人=DREAMER」、それは、どんな人でありましょうか？

真のロータリアンであり続けるために 2. 前向き、肯定的な言葉を使い、 心のおしゃれをする

素晴らしいロータリアンであり続けるためには、ぜひ、「おしゃれ」をしていただきたいのです。外見上のおしゃれ、これも大切であります。しかし、もっと大切なのは、心のおしゃれであります。心のおしゃれ、つまり、言葉のおしゃれであります。具体的には、前向き、肯定的な言葉をお使いになることです。

82歳で亡くなりました歌手の藤山一郎さんは、典型的な言葉のおしゃれな人でした。夫人によると、藤山さんは、「疲れた」「暑くていやになる」「ばかばかしい」などという否定的な言葉を使ったことがないとのことあります。そして、周囲にも、「いや、だめ、あした、は出来るだけ避けたい」と洩らされていたようであります。

皆様にも、ぜひ、肯定的な言葉をお使いいただくようお勧めいたします。良いところをみて、それを伸ばして行き、心にも感動を覚えましょう。感動は行動の起源となります。

私はゴルフをしません、本日ここにご出席の皆様の中には、多くのシングルプレーヤーがいらっしゃると思います。私の地区ガバナー時代の庶務幹事をしてくれました明石俊一君もその一人であります。彼の曰く、ジャック・ニクラウスというゴルフの名人は、スランプに陥っても、立ち直りが早いことで有名とのことあります。その秘訣は、どうも彼の奥様の愛のこもったサゼッションにあるとのことあります。

たとえば、右の肩を上げていたとしましょう。普通ですと、「ジャックさん、あなたは、右の肩を上げるからスコアが悪いのよ。ダメよ。右の肩を上げてはダメ。下ろしなさい」という具合になるところでしょう。しかし、ジャックの奥様は、違って参ります。「ジャック、左肩を少し上げると、もっと素晴らしいよ」というのです。そうです。すべてを、前向き、肯定的に考え、そういった言葉を使うのです。言葉のおしゃれの所以であります。

兼好法師

わかかたちよき人の
言うるわしきは、
忘れがたく、
思いつかるものなり

兼好法師の徒然草に出て参ります一節であります。味わい深いものであります。

まず、「若く」とあります。年齢も若いことが大切ですが、しかし、気持ちの若いことはもっと大切です。この地区大会には、若い方も、またお年を召した方も出席していらっしゃいます。皆さま方、青春を謳歌していらっしゃる。若さというのは、非常に大切なこととございます。

年齢の若いことにも素晴らしいさがありますが、たとえ歳はとっていても、気持ちが若々しい方がいらっしゃいます。人生を前向きに、肯定的に生きていらっしゃる方あります。サムエル・ウルマンは、青春という詩を作りました。

「青春とは人生のある期間ではなく、心の持ち方を言う。バラの面差し、紅の唇、しなやかな手足ではなく、たくましい意志、豊かな想像力、燃える情熱をさす」

というのであります。私たちは、年齢だけでは老いがないのであります。希望、また夢を失う時に老いが来るのであります。

「かたちよき」とは、正しい形は正しい心の母であると申します。

「言(こと)うるわしき」とは、言葉のおしゃれをしている方あります。

こういう方が心の籠もった接客をしておりますと、思いが募りまして、もう一度お会いしたいというのであります。顧客であれば、つまりリピーターになるのであります。お仕事が繁盛します。

真のロータリアンであり続けるために

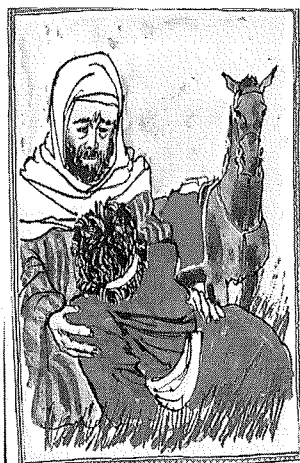
3. 良き「友」を持つ

「よき友」と申しました。ハントレー元RI会長のテーマは、Be A Friend「友達になろう。」でした。「友達になろう」という、その「友達」とは、どんな「友達」でありましょうか。「よきサマリア人の物語」をご紹介します。

よきサマリア人の物語

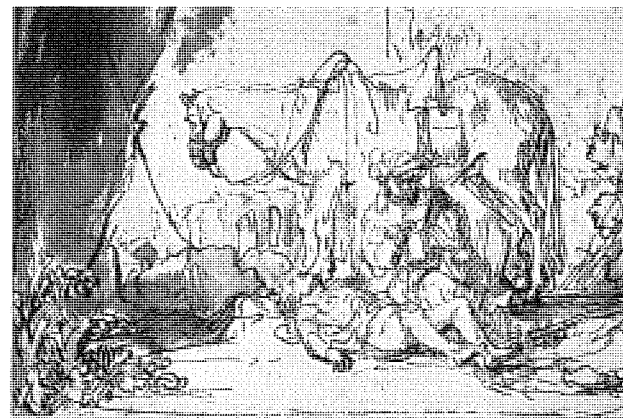
- ① 強盗にあって瀕死の重傷を負った旅人
- ② いつも愛を説く祭司
- ③ 正義をふりかざす法律家
- ④ 日頃、軽蔑されているサマリア人

登場人物は4人です。まず、強盗にあって瀕死の重傷を負った「旅人」がいます。そこへいつも愛を説く「祭司」が通りかかりますが、忙しかつたのでありましょうか、この人を見ると、向こう側を通って行きました。次に、正義を振りかざしている「法律家」も、この場所にさしかかってきましたが、彼もわずらわしいトラブルを避けようとしたのでしょうか、見て見ぬふりをして行きました。そして最後に、日頃はよく思われていなかった「サマリア人」が登場致します。



「負傷した男の手当をするよきサマリア人」

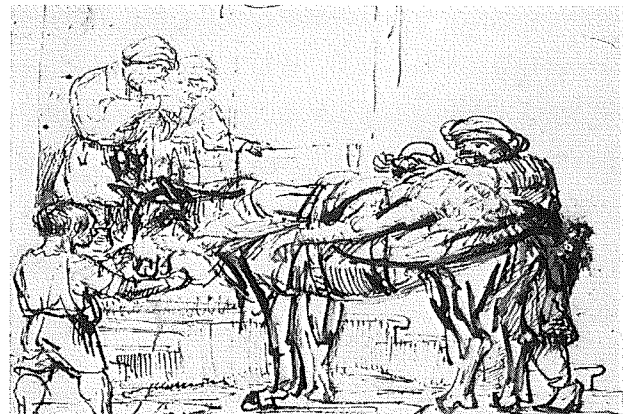
このサマリア人は、見ず知らずのこの人を見つけて、その傷にオリーブ油とぶどう酒を注いで介抱してやりました。



「介抱するよきサマリア人」

これは、レンブラントの描く、負傷した男の手当をするよきサマリア人です。

そうなのです。日ごろ、余りよく思われていなかったサマリアの人が、傷ついている旅人のよき友達となりました。



「介抱するよきサマリア人」

私は、「友」の声を聞くときには、いつも、この「よきサマリア人の物語」を思い出します。この物語は、私たちロータリアンに対して、ただ、言葉や知識を持つのではなく、このサマリア人のように自らの「汗」を流して行動し、周りに人々とよい友達となり、奉仕の後の「さわやかさ」を味わうようにとの思いが込められているように考えます。

「友」の原義は「愛する者」

英語でも、ラテン語でも、「友」という言葉は、「愛する者」から由来しております。友は寛容であり、友は情け深い、友は嫉むことを知らない。友は永遠であります。

He who has a thousand friends has not a friend to spare.

千人の友がいても、ただ一人、どの友も、ないがしろにすることは出来ない。

Ralph Waldo Emerson

私は、1993年3月、国際協議会出席の途上、国際ロータリーの中央事務局のあるエバンストンに参りました。ワン・ロータリーセンターのロータリービルのとある階に、ポール・ハリスが生前に使われたいろいろなものが、そのままの姿で再現されています。机もあり、眼鏡もあります。うしろにあるエマーソンの格言が私の心を捉えました。“He who has a thousand friends has not a friend to spare.” 「千人の友がいても、ただ一人、どの友も、ないがしろにすることは出来ない」というのであります。味わい深い言葉であります。



漢字は、中国5千年の歴史を物語る、人類の、人間の心と英知の結晶であります。「友」という文字の成り立ちはどうであります。古文、篆文、金文、契文のどれをとってみましても、手を2つ重ね合わせた形であります。すなわち、

漢字の語源：「友」 「友」とは「手を繋いで

いる」、つまり「握手」をしている仲良しの姿なのであります。

真のロータリアンであり続けるために

4. それら続ける

1) 良き夢をみ、2) 前向きで、肯定的な言葉のおしゃれを楽しみ、3) 良き友の方々に支えられ、お交わりをする。そして、こういった生活の決め手は、それらを「続ける」ことでもあります。すなわち、

継続であります。いにしえより、継続は力なりと申します。

でも、右の耳から入ると、左の耳にぬけて行くという方がいらっしゃいます。水はザルで受けると、全部洩れてしまうというのです。しかし、ご安心下さい。ザルも、水につけておきますと、これは洩れないんです。そうですね、中山ガバナー。中山ガバナーもお認めになりました。では、ザルを水につけるとは、どういうことでしょうか？これは簡単です。毎週、ロータリークラブの例会に出席されることです。そして、お互いがお互いを高め合ひましょう。映像はそこまで、どうぞ、会場を明るくして下さい。

私のお話の終わりにあたりまして、ご参会の皆様には、一つのチャレンジを申し上げたいと思います。

「仙人」と「神童—神のわらべ」の物語です。ある山奥に、何でもわかるという仙人が住んでおりました。その山裾の村に、とても利発な少年がおりました。その少年は、仙人の話聞きつけて、一度、その仙人と問答がしたいと思うようになりました。

神童とよばれる少年は、こう考えました。少年は、その右の手に一羽の小鳥をもっていました。そして、仙人と、その小鳥の「生き死に」の問答となったとき、もし仙人が、「小鳥は、生きている」と言えば、右の親指で小鳥をキュと絞め殺せば死んでしまうので、仙人の負けとなり、もし仙人が、「小鳥は、死んでいる」と言えば、そのまま放てば、小鳥は飛んで行くことになる、ということでした。

少年は、村の長（おさ）にこの話をしましたところ、村の長（おさ）は、「なるほど、お前は神童（神のわらべ）である。これでは、さすがの仙人もかなわないであろう」とのことでした。

そこで少年は、右手に一羽の小鳥をもって、弓なりになって、意気揚々と山に入り、とある岩かげにたたずんでおきますと、岩の上に出て来た仙人から声がかかりました。その問答は以下のものであります。

ご参会の皆様には、皆様の右の手に一羽の小鳥がいるつもりになっていただきたいのです。

「どうしたのかね、坊や」

「仙人様、仙人様、僕はあなたと問答がしたいので
す」

「何じゃな？」仙人は、慈しみ深い眼差しで、少年
をみつめました。

少年は、一羽の小鳥をもった右の手を差し出しなが
ら、

「僕の右の手には、一羽の小鳥がいます。この小鳥
は、生きていますでしょうか。死んでいる出しょうか。
仙人様にはお解りになりますか？」

仙人は、キツとして目つきが変わり、こう答えまし

た。

「その答えは、お前の右手が握っている」と。

そうなんです。ロータリー・クラブのメンバーか
ら、すばらしいロータリアンになることも、また、
すばらしいロータリアンであり続けることも、実は、
皆様お一人お一人の「右の手」が握っていらっしゃ
るのです。

ご参会の皆様のご多幸をお祈りし、R I会長代理
挨拶と致します。ご静聴ありがとうございました。